常磐毎日新聞

十一月九日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵送料共金一圓五拾錢
廣告料　普通一行五拾錢、場所指定二行七拾錢
日曜及祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
發行所　常磐毎日新聞社
電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
（東京日比谷）東京　四〇二〇番

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

燈管の良好な家には『優良證』を貼付する

警報と同時に集團的避難

平市防空演習の準備進む

平市では既報の如く來る二十一日から二十八日までの八日間に亘つて擧行されることになつた今年第二次の防空演習について早くから準備を進めてゐたが決定された内容は左の如く發表された

▲基本訓練（二十一日）家庭防空群の編成（二十二日）燒夷彈攻擊に對する防空機關の組織運用を目的とする同上演習、エレクトロン燒夷彈燃燒實驗消火法の研究、家庭防空群の防火訓練防火班消防組との連絡動作防護監視、通信、毒ガス下における消防訓練（二十三日）燈火管制指導計劃第一、第二、第三、第五の事項實施（二十四日）畫間警察署の訓練、空襲警報を發し交通整理、待避訓練避難訓練を實施する（二十五日）警察署の夜間訓練、空襲警報を發し毒ガス下における燒夷彈消火を實施する

▲綜合訓練（二十六日）午前八時より二十八日午前八時まで想定を設けて右基本訓練の綜合訓練を行ふ

右の如く今訓練のスケールは正に空前のものであるが計劃のうち待避訓練は地方最初の試みで空襲警報があつてから十分間一切の交通を止め空襲に對する市民の心構を高揚し集團避難の方法を指導するものでこれと同時に燈火管制は一層徹底を期す必要があるところから二十六日の夜は燈管の家を係員が一々巡檢してパスした家の門に「合格證」を特に優秀な家に「優良證」を貼付することになつた、若し規定に反した家には遠慮なくやり直しを命じ二十六、七の兩夜を通じてなほ不良なものには二十八日夜も訓練を命ずることになつてゐる

來る廿一日から八日間

古錢八千八百枚

松村醫師が寄附

數へるのに半日掛り

平市南町松村錢郎氏は今九日古錢八千八百枚を軍用資材として獻納方を市役所に寄託したが

これを數へるのに半日を費した程でかくも多數の古錢を今日迄よく保存してゐたものだと皆驚嘆してゐる

道路委員會

平市では明十日午前二時から第五小學校道路敷地寄附交渉委員會を開く

第二師團司令部

提供の軍事映畫

十二日夜公會堂上映

▽……精神作興大講演

『戰は是からだ』

昭德會仙臺支部、平市役所平自營會主催平警察署、仙臺保護觀察所後援の許に十二日午後六時より平市公會堂に開催される國民精神作興『講演と映畫の夕』の講師と演題は左記の如く決定

『戰は是からだ』第二師團司令部付陸軍歩兵大佐上泉貞吉氏、『臣民翼賛の道』東北帝國大學文學部教授廣瀬嘉雄氏

また、映畫は第二師團司令部の提供に依る軍事ニュースで到底他處では觀る事の出來ぬ珍らしいものばかりであると、尚一般の來場は無料であるが子供連れは遠慮されたいと

炭礦景氣で

飲酒量が增加

平稅務署管内昭和十二年度の清酒其他各酒類の消費量合計は二萬八百石で十一年度に比べ四百八十三石の增加を示してゐるが管内一戸當りの一年間消費量は四斗六升七合で昨年より一升二合增、一人當りでは八升八合で前年と同樣であり消費增は常磐各炭礦の好況の結果と見られる、各酒別消費量は左の通り

△清酒一七、六五三石△白酒五石△味淋七〇石△燒酎一、二一六石△ビール九四一石△ブドウ酒三七石△ウイスキー一五石△新清酒八七一石

檢定査員

篠山平

第一、千葉第二、赤津第三の各校長及び下山田磐中教諭は來る十四日から六日間平第三校で施行される消通りの小學校教員及幼稚園保姆檢定試驗の委員に今九日命ぜられた

秋刀魚不振

小名濱減收

小名濱港本年の秋刀魚水揚では八十萬尾四萬四に過ぎず前年の百四十萬尾七萬圓に較べ著しく劣つて居りそれだけに相場は一箱（十六貫）十四圓見當で前年より二割高であつた、尚本年は經が十五萬圓からの減收で小名濱市場としては前年同期の百四十萬円の水揚げに對し約三十萬円からの減である

稼ぎに來て

轢倒さる

田村郡夏井村北田原井左官先崎義郷さん（四七）は八日朝平市才槌小路地内を通行中疾走して來た湯本町榮田矢吹佐市氏方運轉手矢吹周一（三六）のトラックに轢倒され腰部に一ケ月の重傷を負つた、平へ稼ぎに來ての奇禍である

縣社境内の地均

平商生が連日出動奉仕

平商では國民精神作興週間に際し期間中各學年毎に出動縣社子飯倉神社の地均作業を奉仕することになつたが十日には國民精神作興詔書並に事變一週年の勅語奉讀式を擧行貯金、一錢献金、享樂節制を行ふ外十二日には全校生の强行軍を實施する

農事品評會

澤渡

三阪、永戸、箕輪の兩組合では來る十二日から三日間澤渡小學校に農事聯合品評會を開催するが審査は郡農會の青山技師植田町佐藤八代辰之助翁（七三）は毎日繩なひをして貯つた十圓を國防費へと八日町役場へ寄託した

浴る程呑んだ酒

ピタリと止めて

國策の線に沿ふ四人男

高久村字川和久農高木明治さん（五四）鈴木富雄さん（四五）猪狩寅松さん（四八）志賀伊佐吉さん（四三）の四人は揃ひも揃つた大酒呑みだつたが今次事變勃發と同時に斷然禁酒を申合せて以來生れ變つたやうに一滴も口にせず節約した金十圓を第一回分恤兵金としてこの程村役場に寄附村民もその變り樣に感心してゐる

組合長判決

内郷

村大字綴一之坪精米業加々美銀次（五七）は納稅組合長を務めて居た處借財の支拂に困り積立金一千五百十五圓を横領しけふ平區才判所に公判開廷大脇檢事から懲役一年を求刑されたが息子が全財産を投げ打つて辨償したゝめ淺野判事から懲役一年但執行猶豫三年間といふ寛大な判決を言渡された

賣店の純益

上遠野

村字町鈴木勳君は目下江南戰線で活躍中だが留守宅を護る母シチさん（四八）妻ヨシ子さん（二六）の兩名は同村小學校の運動會當日賣店を設けた益金二圓をそつくり國防費にと此程献金感激せしめた

健康保險醫

草野

村大字泉崎醫師大場左武郎氏はこの程健康保險醫に指定された

謹告

今回の地震は各方面に可成りの被害を及ぼしました結果本社等に對しても愛讀者各位より懇篤な御見舞を辱ふし殊に五日夜は電話線故障の爲め折角御高配に依る御照會多數あつた趣きにも拘らず通話不能にて御意を傳ず甚だ失禮致しました、幸ひ弊社は大被害を免れ何等の支障なく平常通り業務を進めて居りますから御安心願上たく地震も漸く終熄の模樣でありますため不取敢御見舞に答へて御厚禮申上げます

常磐毎日印刷株式會社
常磐毎日新聞社
社長　川崎文治

藝界の名人達が世界館で顔合せ

映畫界のスターも實演

廿三日神嘗祭の夜

平市には稀らしい映畫界の人氣スターと演藝界の重鎭等の大顔合せ――講談界の巨頭神田伯龍、横笛では日本一の名人と云はれる月の宮笛鶴、浪曲界の人氣若手玉川勝若の一行は漢口陥落を祝し來る二十三日來平午後五時から曠前の世界館で華々しく開演することになつたが何れ劣らぬ藝界の名人揃ゑ中にも玉川勝若は玉川勝太郎の秘藏弟子として知られて居り夫れに越境事件で世間を騒がした岡田良子の先夫松竹スター竹内良一が美貌の佐久間妙子外十餘名と共に加はり實演がある筈で地方空前の催しだけに各方面から人氣を博するものとみられる

失火罪罰金

湯本

町字笠井磐炭長倉坑充電室主任飯塚松吉（四九）は今八日平區から失火罪で略式罰金三十圓に處された

同人は去月十四日作業中職務を怠慢瓦斯の發生に引火を發見せず同坑の充電室を全燒せしめたものである

漂迫男懲役

既報

札幌刑務所から平市に流れ込み各所を荒し廻り檢擧された前科六犯のルンペン男――目下住居不定栃木縣芳賀郡生れ伊澤桑三郎（五〇）に係る窃盗事件の公判は今九日午前十時から平區に開廷、中谷監督判事から大脇檢事の求刑通り懲役一年の判決を即決で言渡された

信榮母の會

平市

材木町信榮幼稚園には十一日午後十二時半から母の會を開き園兒の可愛い遊戯等もある由

財布を窃取

内郷

村白水磐炭坑夫高橋茂夫（四四）は六日同村岩井塲渡邊雜貨店から現金十八圓入りの財布を窃取したこと發覺、今九日平署へ檢擧された

平商の演習

平商

四年生は今九日同校附近で藤井教官指揮の下に野外演習を行つた

地震と海嘯との關係に就て

小名濱支局通信

支局長　小野務平

▽中央氣象臺鷲坂技師と小磯氏意見一致

地震と海嘯とに就ては本紙八日付『磐城地方は古來大地震や海嘯がない!!!』の題下に小名濱測候所長小磯氏の談を掲載し磐城地方に於ける過去の地震關係に付報導して置いたが七日午後六時半東京中央氣象臺地震學研究家たる鷲坂技師が被害調査の目的を以て小名濱測候所を訪はれたので鷲坂技師の地震學の研究に依つての意見を聞くを得たが其述ぶる所は小磯所長の述ぶる所と大同小異と云ふ所で只專門家だけに細より密に入つた點を再記し今後もある事であるから地方民の參考に供したい婆心から筆を進むる事にした

大きを調ぶると地震地帶には環太平洋地震帶と云ふものがあつて世界の各國に大震災の起る原因となつて居るがそれ以外に小さい地震帶がある、それは外側地震帶と稱して銚子沖から金華山沖に亘つて約百キロ内外の海底に脈が通つて居る、其地帶が常に震源地となるもので能く金華山沖、鹽屋岬沖と云ふが其沖合が比較的海深が延び傾斜も急勾配で地殼に變化が起り易い大地震帶の一角に地殼の陥沒が尤大なる爲めに來るもので之れが陸地より距離が近いだけ震動が激烈に感ずる譯けである。五日の午後五時五十分頃の地震は金華山沖百キロの地點とあるから從來よりかは陸地に近い方で之れが陸中の宮古港沖合であつたとすると相當な海嘯の被害があつたかも知れぬが宮古沖合を遠かつたので其被害を聞かなかつたのは何よりである

扨て海嘯が何故に起るかと云ふと地殼が一時にドンと陥沒すると平均を保つた海水が其陥沒地點に浸透するその理合せに四方から流れ來る陥沒地點で鉢合せをする反動で四方に豪氣な勢で奔散する、陸地には山岳があつて之を遮る更に餘力を得て猛威を加へ暴れ狂ふ其狀態が海嘯となるのであるが少くとも邊近によるが大地震後二十分以後四五十分以内に襲來せない場合は海嘯は絶對に來ないものとして安神して良い

今三陸方面の海嘯の歴史を尋ぬると慶長十六年十月二十八日三陸から北海にかけての大海嘯があつた（今より三百二十五年前）次に來たるものは明治二十九年六月十五日有名な三陸海嘯で三萬人が慘死して居る、更に昭和八年三月三日の海嘯も小さいながらも被害を受けて居る、然るに磐城地方は正保三年四月二十六日の大地震と云ふ記錄で海嘯は何も記錄に殘つて居ない點から比較して見ると之れには海岸の構成が三陸地方と全然相違して居る事に原因して居る事が判かる、宮城縣から岩手、青森と其沿岸には山脈重疊して屈曲甚だ多く自然の港灣が數知れぬ程出來て居る、磐城地方は其反對に何等天然の良港として數ふべきものがない

其處で怒濤が襲來しても抵抗すべき遮殺物がないから勢が漸次弱つて被害が少い、之れと反對に三陸地方は襲來せる怒濤に抵抗すべき障害物が餘りに羅列して居るから勢に乘じた幾何級數的に幾倍かの勢となつて被害を加へる事となる

然らば今回の震源地たる金華山沖百哩内外の地點は尤も陸地に接近した場所であつて三百年來嘗て無いと見る大地震でつなみがなく殊に五日夕刻の地震に於て海水の高程が平時より一米八センチと云ふに見てつなみは磐城地方に絶無と稱して間違いないと斷じてよい

と云ふのであつて磐城地方が地震の多い所としては有名ではあるが地震から來るつなみは絶休ないものであるとの地震學說を楯とした見地からこの斷案を下し得たので我地方民の幸福である事を强調する次第である

繩なひ翁

國防費献金

販賣の統制

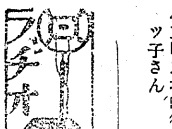
小名濱町では本九日午後一時から同町小學校で販賣統制講演會を開き本縣警察部宮城警部及び平稅務署直稅課長の講演があつた

平市人事

回出生

△綱宜町二三輪喜美氏長女宣江さん

△立町二北崎德氏長女セツ子さん



今晚の部

▼後六、〇〇連續劇「ニコニコ姉弟銃後日記」…勤勞奉仕…若草コドモ會

▼後八、〇〇獨唱と物語詩曲「現代日本の詩歌」外　荻野綾子外

▼後八、四〇掛合琵琶「羽衣」若林鳳水外

▼後九、〇〇立體物語「野村望東尼」彤村春子

明日の部

▼前一一、〇〇續連續劇「シャボン玉とんだ」ナカコシクラグルガン二重奏「ウイルヘルム・テル」外　北村滋草外

▼後二、〇〇小學生の時間「高等科」職業講座（三）職業界進出の心構へ　山極武利

▼後三、〇〇婦人の時間「長期戰に處する婦人の覺悟」吉岡彌生

▼後六、〇〇お話「心の總動員」小笠原長生

▼後七、四〇講演　末次信正

▼後八、〇〇獨奏と獨唱「變奏曲」外　加藤るり子外

▼後八、四〇時局演藝

▼後八、五〇人形淨瑠璃「お駒才三繼娘背八丈」（鈴ケ森の段）豐澤駒太夫

愛情三度笠　吉川英治作　瀧田延秋画

（113）…寄書…

寄すだれ　六

「ア、これで藤太の袋みも足りた、松千代どの、いづれ父藤あれば御目にかゝるときもあらう。さア、御作れの所へ歸らつしやい」

「はい、あの……私……」

松千代に何となく名殘が惜しまれて、立ちかねてゐる時だつた。

「松千代さん、藤太、しつぽりとお樂しみね！」

何時の間にか、おしんが、傍に立つたまゝ、松千代の顏を覗らし氣に見すゑてゐる。

「ゝれッ、姐さん！」

彼女はびつくりして、大助の袖をやゝ離れた。

「馬鹿だなア破せ、破げるぢやないか」

大助に無理から、さつと引きはらふ。

「どうしても、嫌るの？」

おしんは、恨めしさうに彼の顏を見かへした時。

「旦那さん、姐ちやんと……御一緒にこゝに居て下さいな」

と、松千代は大助の袖にとりすがる。

「お前さんの出る樣ぢやないわよ」

と、おしんは松千代の行動が如何に自分に對して、好意を持つて居やうとも、惡く惡の種になつてしまつた。

「はい……」

松千代も、くやしさうに手を引いた。

大助は突立つたまゝ、おつと思案をしてゐたが、おしんと松千代との間に、何か知ら、感應にからまる情實のあることを感知したので、既切つた袖を未練くさくも、又元の席にかわつた。

「馬鹿だなア、お前は何故そんなことを云ふのだ！」

と、大助は幾度か切れないでおしんの顏を睨めかへした。

「エ、わかつてますよ、若旦那はそれはこの女がお好きでせうさ、お好きかは知れませんがこの女には私に對して、少々義理がある筈なんですわ、あんまり人をふみつけないでください ね」おしんの言葉は、大助にはのみ込めなかつた。

この時、おつたがつと立つておしんの袖を引つ張つたのである。

「おしんさん、冗談だよ、お止まへさん、何と云ふ馬かしい顏をするのかね」

と、江戸綴同士の會話が、他の客の耳に無理を拵つて聞こえたのであらう、近くの藤太の客は、從ぢうちになつて、不思議な顏の場面を見てゐた。

大助は、いやになつた。何となく野暮くさい無樣がして、そのまゝツイと、席を立つて裏の方へ引かへす。

「若旦那、何處へ行くの？」

「歸るんだ」

おしんは、きつと眼をする。

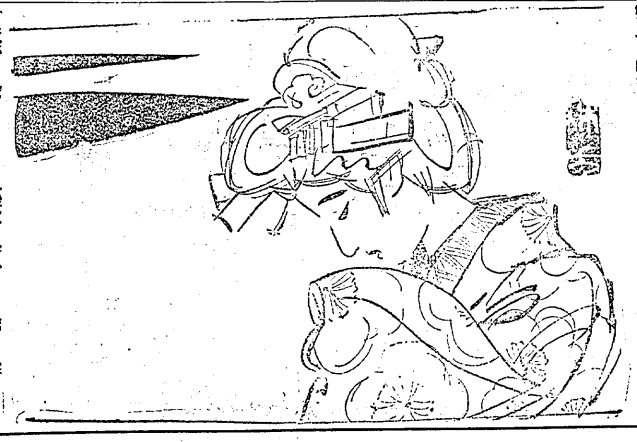
「歸しません」

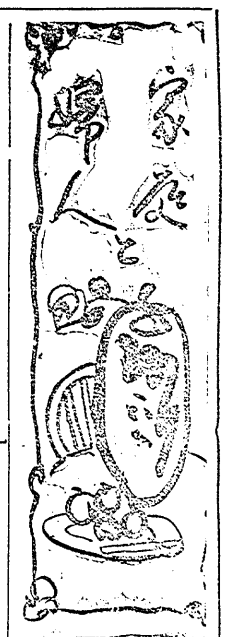
と、大助の袖を摑んだ。

「馬鹿！　人がわらふぢやないか」

「わらふ奴は、わらはせて置くまでよ」

と、彼女は他に強硬の無樣になつて居た。





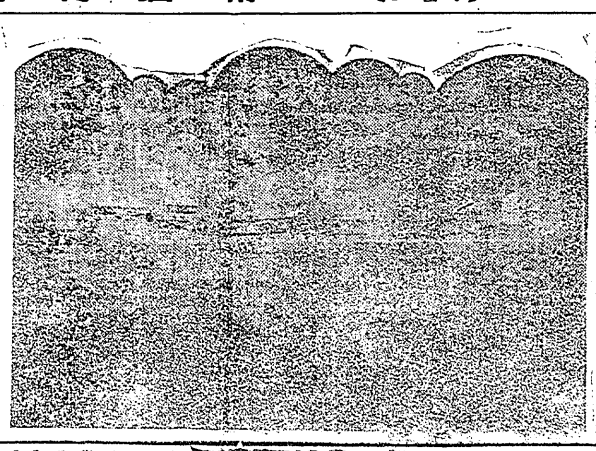
地下に設ける飛行機根據地

修理工場もある格納庫

戰時における地要の利用は驚嘆上きはめて重要で、地下に飛行機根據地を設ける計畫は各國で研究されてゐる。第一圖は、飛行機を收容する格納庫、その斜面に入口を設けてトンネル式の地下格納庫を斷面したもので、入口は、この兵隊で擬裝されてゐる

第二圖は平面で、飛行機の出入は入口近くに配置した、まき機を利用して滑走で出發する。また燃料にはガソリンタンクもある

これの構造は入口が地下壕に類して擬裝の設備を備へてゐるいことである



地下の壕が地面に不十分な時には、圖にしめすごとく厚さ一メートル以上の鐵筋コンクリートの蓋を設け、地下壕をふせぐ。この構式はドイツの山岳地方に採用され、また水上飛行機用としてドイツ北海沿岸の砂丘地帶にこれ採用ひられてゐる

第三圖は飛行機ないのせまい場所にそなへるもので、地下深く壕築して地上に滑走路を設て連絡し飛行機はエレヴェーターによって出し入れされ、カタパルトによって出發される

入口は、擬裝は地面に擬裝されてゐるから敵に發見されがたい

黄浦江とは

上海繁榮の動脈にして南支切つての重要水路

支那軍が敵に自滅政策を施させ目覺ましい成績をあげつつあるこの頃、黄浦江は上海繁榮の動脈としておもはせる程の活潑を試みつつある黄浦江は上海繁榮の動脈となるべき南支切つての重要水路である。江蘇省金山縣の西北部三泖湖に源を發し松江、嘉興の諸縣をうるほして上海付近で黄浦河を合し、ウースンロの砲臺の前あたりで揚子江に合流し、百里の黄浦灘となって東支那海に注いでゐる。全長二百五十里、春申江或は申江の別があるのは楚の春申君がこれを開鑿にひらいたからで、黄浦灘者は七彩アーチ色の大鐵カラーを見せてゐる、繁榮の海から入江して十九キロ上海市内の蘇州河との合流點ありまでは水深十メートル一萬トン以上の大艦巨船軍艦も悠々出入出來るし、上海、ウースン間の水路は機雷多數の設置を投じて改修するから東洋一の良河

大規模なものはそのなかに繁榮工業をもつてゐる

さてこれらの地下格納庫は設備の擬裝をふせぐには適當ではあるが飛行機の出し入れに時間がかかりまた莫大な建設費用を要する缺點がある。しかしアメリカ政府は太平洋岸ではアラスカカ、シヤトル、サンフランシスコ、ロスアンジェルス間、メキシコ灣等にこの種の地下根據地建設を企圖の地下根據地設を企圖してゐる由である

空中に鐵のあみを張り敵機除けの新城へ

大戰が教へた防空氣球の話

敵機大襲撃時、ロンドン市においてドイツ飛行機の空襲をふせぐため網を下げた氣球を使用して以來、イギリスでは防空氣球による都市防衛法が盛んに研究されてゐる。防空氣球は通常水素ガスのごとき空氣より輕い氣體をみたし輕くて堅牢な鐵鋼をよりあはせた索によって地上に繋留しておくもので、恰度アド・バルーンと同樣なものである

防空用の氣球は五、六千メートルの上空まで揚げ、しかも長時間使用する必要があり、水素ガスのもれない素材を使用する

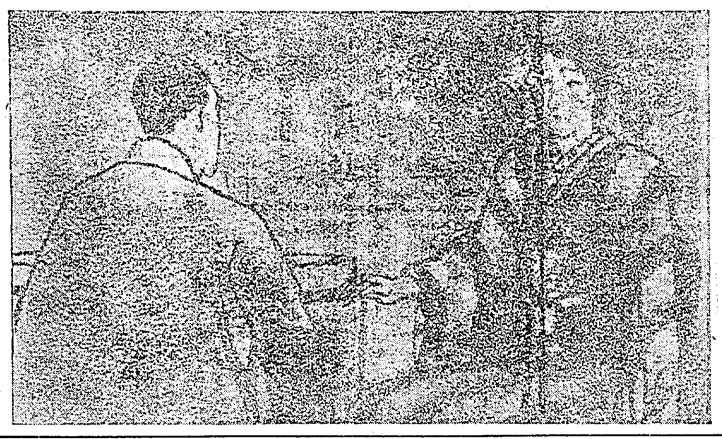
それにはゴールド・ビーターズ・スキン（牛の腸の内膜を張りあはせたもの）の外皮をさらに膠水ゴム引きの木綿布でつゝんだものがもっともよいとされ形狀は球よりも流線形の方が風になかされない、そしてある氣球までは、氣球の大きさを增せば高く揚げ得るが、二個以上の氣球を繋索につないで、最上のものは數千メートルにも達するやう工夫したものもある

防空用氣球が千メートルの高さにあれば鐵鋼はそれ以上に、また氣球が五、六千メートルに揚がってゐれば、さらにそれ以上の高度とはないかぎり繋索にヒッかゝることとなるから、索の間を巧く縫って航行飛行をせねばならず、繋索の材料は驚しく鋼索される

一繋索の高度にとってはたった一つの氣球が揚ってゐても非常に危險になるもので、たとへ晴朗で氣球がハッキリ見えてゐてもその下に下ってゐる繋索は容易に見えるものではない

繋索に風のために傾斜してゐるからちょっと見落をつけることも困難で非常に高度で飛んでゐる飛行機が繋索の氣球及繋索に

防空氣球の設置は、大都會の三分の一の面積をおけばよい、奏、佛では防空する氣球相互間をさらに繋索でつなぎ、その繋索からは、敵機の機索を下げて、敵機を撃墜しようとする索を立てゝある、



不滅のシンボル

（壓縮）

……第百五十五回……

態度變心（三）

長い間ハガキ一本出さなかった自分の仕打を、きっと怒ってゐるのだらうと思ってゐるので、今目の前に現る彼のさうした態度を、野乃は那に不思議に思ってゐたのだった。

『まあ、怖い顔、そんなお顔しなくたっていゝぢゃないの』

野乃は俺も相手を惑化してでもゐるやうに、にゃ〳〵笑ってゐる

『怖い顔なんかしないが、一體どうしたといふんです？』

『その前にあたしの方からも訊きたいことがあるわ。』

野乃は反問した。

『それはなんのことです？』

『二階へ行きましょう。さ、いらっしゃいな』

『僕は今日は失禮しよう』

『えゝ？ なんですって？』

野乃の顔が瞬間緊張した。

内儀さんは氣をきかしたつもりか、それとも用事でもあるのか、ちょっと廊を外して奥へ出て行った。

『二階へ行きましょう。さ、いらっしゃいな』

『僕は今日は失禮しよう』

『えゝ？ なんですって？』

野乃の顔が瞬間緊張した。

内儀さんは氣をきかしたつもりか、それとも用事でもあるのか、ちょっと廊を外して奥へ出て行った。

『いらっしゃさう〳〵、もう座るの？』

野乃はきっとなって、杳二を見る。

『……』

まだ膳は上げないが杳二は坐ったまゝである。

『ねゝこれつきり會ふって の？』

えゝなんとかきって頂戴

『だって、きみが來さう〳〵なことばっかし云ふんだもの』

『あたしが？あら、何も變なことぢやないぢやないか』

『言ったちゃないか』

『さうを。だったら御免なさい。ねゝかんにして頂戴。』

『僕は今日は失禮しよう』

『えゝ？ なんですって？』

野乃の顔が瞬間緊張した。

内儀さんは氣をきかしたつもりか、それとも用事でもあるのか、ちょっと廊を外して奥へ出て行った。

『いらっしゃさう〳〵、もう座るの？』

野乃はきっとなって、杳二を見る。

『……』

まだ膳は上げないが杳二は坐ったまゝである。

『ねゝこれつきり會ふって の？』

えゝなんとかきって頂戴

『だって、きみが來さう〳〵なことばっかし云ふんだもの』

『あたしが？あら、何も變なことぢやないぢやないか』

『言ったちゃないか』

『さうを。だったら御免なさい。ねゝかんにして頂戴。』

『僕は今日は失禮しよう』

『えゝ？ なんですって？』

野乃の顔が瞬間緊張した。

内儀さんは氣をきかしたつもりか、それとも用事でもあるのか、ちょっと廊を外して奥へ出て行った。

『いらっしゃさう〳〵、もう座るの？』

野乃はきっとなって、杳二を見る。

『……』

まだ膳は上げないが杳二は坐ったまゝである。

『ねゝこれつきり會ふって の？』

えゝなんとかきって頂戴

『だって、きみが來さう〳〵なことばっかし云ふんだもの』

『あたしが？あら、何も變なことぢやないぢやないか』

『言ったちゃないか』

『さうを。だったら御免なさい。ねゝかんにして頂戴。』

無敵日本陸軍

これだけの種類に分れて重要な任務に就く

●…戰場で活躍してゐる戰士は日本軍にはどんな兵種があり、いかなる任務につき、どんな兵器で戰つてゐるのでせうか？ 次の七種類からなってゐます

■憲兵科■ 黒色の襟章をつけてゐます、軍隊の警察です、外國の憲兵隊などをとらへます、戰場では捕虜や敵情を守つたりわが軍を守る役目をもつ

■歩兵科■ 赤色の襟章で歩兵は軍の主力で戰爭の最後の勝は歩兵がきめます、だから歩兵は一番多く、銃でも砲でもどんな形でも使ひます、兵種は歩兵、騎、輜、輜重、工兵、各種兵、各種兵科などです、タンクの搭乘兵も歩兵の一種ですが、タンクの搭乘兵、ふみつけるのが役割です

■騎兵科■ 黄色の襟章で、騎兵は馬に乘り敵に接近する役目をもつてゐます

■砲兵科■ 黄色の襟章です、大砲を發射するのが砲兵の任務ですが、軽い大砲をもつて戰場をかけめぐるのが野砲兵と山砲兵、騎兵と共に活躍するのが騎兵、大きい大砲で遠い敵を攻撃するのが攻城砲兵、一般大きい砲を使用する砲兵

■工兵科■ 藤色の襟章、橋をかけ、道路をひらき、又敵の道路、鐵道を破壞します

■工兵科■ 藤色の襟章、橋をかけて敵を渡したり、敵の鐵道をひらき、又敵の道路、鐵道を破壞します

■航空兵科■ 淡い緑色のえり章、いふまでもなく飛行機で敵陣を偵察したり、敵機と戰ふ空中戰を敢行したり、敵情を偵察したりしてめざましい働きをします

■輜重兵科■ あい色のえり章、馬、車、自動車などを使つて弾藥、食糧、衣服その他をはこんで味方がおもふ存分に戰へるやうに働きます

■經理部■ 銀鼠色のえり章、軍隊の衣服、食糧、住居などを取扱ひ軍隊の金錢の出し入れをします

■衛生部■ 淡い緑色のえり章、名譽の負傷した軍人や病氣になった行人を治療します、

■獸醫部■ 紫色のえり章、軍隊で飼ふ馬の病氣や傷の治療などをおこなひます

■軍樂部■ 紫色のえり章、軍樂を吹奏して軍隊の士氣を高めるのが任務です

■騎兵科■ 黄色の襟章で、騎兵は馬に乘り敵に接近する役目をもつてゐます

■砲兵科■ 黄色の襟章です、大砲を發射するのが砲兵の任務ですが、軽い大砲をもつて戰場をかけめぐるのが野砲兵と山砲兵、騎兵と共に活躍するのが騎兵、大きい大砲で遠い敵を攻撃するのが攻城砲兵、一般大きい砲を使用する砲兵

■工兵科■ 藤色の襟章、橋をかけ、道路をひらき、又敵の道路、鐵道を破壞します

■工兵科■ 藤色の襟章、橋をかけて敵を渡したり、敵の鐵道をひらき、又敵の道路、鐵道を破壞します

■航空兵科■ 淡い緑色のえり章、いふまでもなく飛行機で敵陣を偵察したり、敵機と戰ふ空中戰を敢行したり、敵情を偵察したりしてめざましい働きをします

■輜重兵科■ あい色のえり章、馬、車、自動車などを使つて弾藥、食糧、衣服その他をはこんで味方がおもふ存分に戰へるやうに働きます

■經理部■ 銀鼠色のえり章、軍隊の衣服、食糧、住居などを取扱ひ軍隊の金錢の出し入れをします

■衛生部■ 淡い緑色のえり章、名譽の負傷した軍人や病氣になった行人を治療します、

■獸醫部■ 紫色のえり章、軍隊で飼ふ馬の病氣や傷の治療などをおこなひます

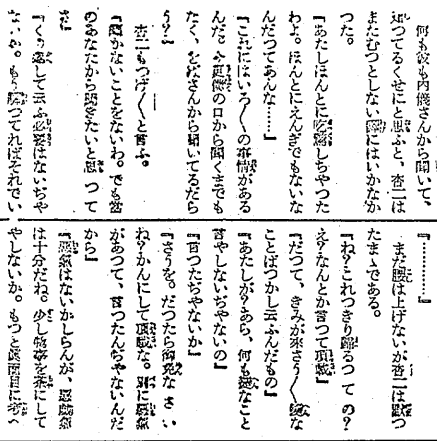
■軍樂部■ 紫色のえり章、軍樂を吹奏して軍隊の士氣を高めるのが任務です

堅パン

子供づれの遠足に便利

北支の戰線は二日の戰パンで一食をすごしてゐる位ですが、この食糧の堅パンは戰地ばかりでなく、遠足にでもまた露營地でも、唯今戰場でつくられ國防獻金の勝利用され、我に子どもさん連れの遠足などには携行するも赤飯です。更にこれを平素から一定量たべておけば非常時には意外に役立つものです

（材料）小麦粉七五〇グラム（二〇〇匁）、黒糖四五〇グラム（一二〇匁）、ラード（または植物二三五グラム（六〇匁）、鹽三



吉田眼科醫院
平市紺屋町電話八六番
醫學士 吉田久雄

花柳病科外科
木村外科醫院
平市六丁目橋際 電話三〇九

家傳 安流丸
梅毒とたい毒
吹出物にはれものは
安流丸に限る
阿部藥舗
平市田町

一公債、株式、債券
現物賣買
株式は一株より
債券は一枚より
和 株式店
電話三六五番

お醤油はヤマフル
福島縣平市
醸造元 鹽屋
電話一一〇七番
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

醤油味噌
たひら正宗
鰹節食料品

病室增築、手術室完備
醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町 電話三六九番

御婚禮御着附
パーマネント
ウエーブ
和洋結髮
オゾン美顔術
御染髮洗毛
御爪美術
平市駅前
水野化粧院
電話六七八（營業所）五二五（自宅）

メガネは！
平市二丁目
玉屋

三井タクシー
平二 電話六八五番

▽是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四 電話六〇六番

◇食通の！
一口カツ と シユウマイ
出前迅速 電話2番8番
福壽軒食堂
平市田町

フケで頭の痒ゆい方に……
三共のサボイド石鹸の御使用をおすゝめ致します。
本石鹸は最上の原料により製せられた硫黄コロイド石鹸ですから、其他あらゆる皮膚病の方が用ひてよろしく、又、皮膚病豫防の目的にて常用されれば美容と衛生の上から非常に喜ばしい効果をもたらします。
1ケ20セン
三共株式會社代理店
西村屋藥局
平市本町二丁目 電話三番

……出前迅速
御料理
〝むぎとろ〟
是非！御試食下さい
平市田町紅小路
さつき
電話四八八番

（夜間診療）
胃腸性病
内科 胃腸病科
花柳病科 性病科
皮膚科
専門
松村醫院
胃腸性病
平市南町（電話一〇七番）

銃後の皆樣喜んで御使用になる
糸イラズ
綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジャケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては國家の經濟は莫大のものとなりませう
男子の方や御子樣方でも容易に修繕が出來ます糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい
定價 20錢 30錢
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番 振替東京三〇〇六五番